

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2018-196656(P2018-196656A)

【公開日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-048

【出願番号】特願2017-103192(P2017-103192)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行なうことが可能な遊技機であって、

遊技枠に設けられた軸に対して回転することで当該遊技枠から突出可能な可動体と、

前記可動体に設けられた発光手段と、

前記可動体の回転角度を調整することで前記可動体の動作を制御可能な制御手段とを備え、

前記発光手段は、前記可動体がいずれの角度であっても同一の輝度で発光可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(1)遊技を行なうことが可能な遊技機(パチンコ遊技機1等)であって、

遊技枠に設けられた軸(軸290等)に対して回転することで当該遊技枠から突出可能な可動体(第1上部役物29L, 第2上部役物29R等)と、

前記可動体に設けられた発光手段と、

前記可動体の回転角度を調整することで前記可動体の動作を制御可能な制御手段(図12のS752に示すように、設定された角度に応じて、第1上部役物29L, 第2上部役物29Rの回転角度・回転速度を設定する等)とを備え、

前記発光手段は、前記可動体がいずれの角度であっても同一の輝度で発光可能である。